

# 2017年度 1341人の新入生を迎え入学式

平成29年度入学式を4月1日、本キャンパス第一体育館で挙行了。多くの保護者や本学関係者に見守られ、大学院生を含む1341人が新たに白鷗生となった。式辞のなかで上岡條三理事長兼副学長は「情熱をもって勉学に励み、何事にも勇気をもって果敢にチャレンジしてください」と新入生を激励した。今年度の学部入学者数は、入学定員1100人に対し1340人。前年度より3学部とも増加し、経営学部51人、法学部18人、教育学部39人の計108人増となり、全学4945人で新たな年度をスタートさせた。



学生リーダー主導で行われた校歌斉唱

(2017年4月1日現在)その後、同体育館で引き続き在学生表彰式を行った。昨年行われた第68回全日本大学バスケットボール選手権大会において同部の初優勝に貢献し、優秀選手に選ばれた本学女子バスケットボール部所属、教育学部4年の



功労賞を授与される加藤勝己さん

## 地域連携 小山市と連携強化へ報告会で意見交換

小山市との連携事業報告会が6月12日、同市庁内の会議室で開かれ、本学の上岡條三理事長をはじめ藤井健経営学部長や小泉祥一教育学部長などが出席。平成28年度の事業実績と今年度事業計画について確認された後、連携事業について意見交換を行った。挨拶のなかで上岡理事長は「より地域に根ざした大学づくりのため、みなさまの意見を取り入れて具体的なプランを出していきたい」と連携強化に意欲を示した。今年度の新規事業は、女子学生の模擬議

会の参加協力や機能別消防団への入団などを計画。意見交換の場では、空き店舗やアスリート施設の活用などについて話し合われた。

白鷗大学と小山市は2007年3月に、人材・教育・研究、産業・雇用をはじめとする各分野で協力。地域の課題に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に、連携に関する協定を締結した。



連携強化へ事業の確認が行われた

の星香那恵さんと、第63回全日本ローラースケートスピード選手権大会において総合優勝し、現在日本ローラースポーツ連盟の強化選手に選ばれている経営学部3年加藤勝己さんがそれぞれ功労賞を受賞した。

## 学位記・卒業証書 1106人に授与

3月18日、本キャンパス第一体育館で平成28年度白鷗大学学位記・卒業証書授与式を挙行了。1106人が本学から旅立った。奥島孝康学長は「本学で学んだことをさらに思い返し、さらに高く大空へ舞い上がって活躍してください」と激励したほか、精神科医で作家でもある北山修副学長は「歌は旅の間で生まれる」とし、「また新たな旅に出る皆さんは、今日思いついた言葉を書き留めておくと、それが新しい旅の歌や小説の書き出しになるかもしれない」と述べた。この日、最後の法科大学院生2人も修了した。「北関東唯一の法科大学院」として、13年間にわたり地域に根差し貢献できる法曹の養成をめざし、優秀な人材を輩出することを目的とした同院は、2015年度で学生募集を停止しておりこの3月末をもって廃止となった。



真剣な眼差しで式典に臨む卒業生

## 就職率 昨年度を上回る98.3%

## 教員採用試験 169人が合格!

## 公務員 警察官など101人が合格

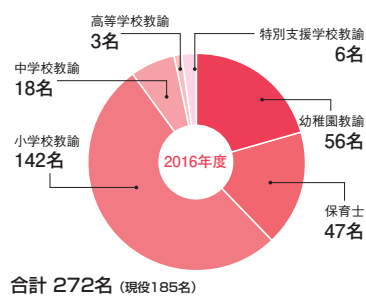
キャリアサポートセンターによるきめ細かな支援と、学生優位の「売り手市場」が続く経済状況により、2016年度の卒業生に占める就職者の割合は84.8%と、全国平均の72.9%を上回った。さらに就職希望者に占める就職者の割合は98.3%と、過去最高であった昨年度の97.3%を上回り、記録を更新する結果となった。

2016年度、教員採用試験合格者(臨時的任用除く)は新卒82人、既卒87人の合計169人。その内訳は小学校教諭142人、中学校教諭18名、高等学校教諭3名、特別支援学校教諭6名、幼稚園教諭56名、保育士47名、合計272名(現役185名)。

公務員を含む101人が合格。栃木県警察本部をはじめとする警察官47人、県庁・市町村職員30人、消防官4人など。うち女子学生の合格者は36人と、女子学生の活躍の場も確実に広がっている。

キャリアセンター長の内堀敬則教授は「学生と教職員の距離の近さが本学の特徴。学生全員のポテンシャルを伸ばすことを使命感に、教職員が一体となってサポートしていきます。」と意気込みを語った。

### ■保育士・教員の合格実績



### ■教員採用試験合格者数の推移

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	合計
19名	22名	41名	31名	53名	768名
2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
76名	112名	123名	122名	169名	

### ■2016年度就職率

【経営学部】	98.0%	(297人/303人)
【法学部】	95.9%	(185人/193人)
【教育学部】	99.4%	(474人/477人)
<b>合計</b>	<b>98.3%</b>	

## 大学基準の 適合認定を受ける



本学は、2016年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受け、「大学基準に適合している」と認定された。認定期間は2017年4月1日より2024年3月31日まで。

今回の評価においては、前回の大学評価で指摘された事項のうち、勧告の対象となった問題点を解消し、その他の問題点についても改善のための対応に努めるのみならず、有効な内部質保証システムの構築に資する組織改革と、本学の理念と本学を取り巻く時代環境に適合した体制づくりのための積極的な努力を継続して行っていることが確認された。

とりわけ、建学の理念に立脚し、「地域性」と「国際性」を兼ね備えた大学を建設するという中長期目標を踏まえて、国際的視野をもちつつ地域に貢献できる学生を育てるという観点から、学生とともに多彩な地域社会との連携及び貢献を行い、学生を地域社会で活躍できる社会人として送り出すための進路支援に力を傾注していることが特筆すべきことであり、高く評価することができるとの評価を得ることができた。



### 佐坂樹選手がW杯U19日本代表に 本学からは初の選出



1年次から活躍する  
佐坂選手

女子バスケットボール部の佐坂樹(ささかき)選手が19歳以下のワールドカップ日本代表に選ばれた。本学からは初選出。  
佐坂選手は埼玉県の山村学園高校出身で身長178センチ、体重77キログラムのパワーワード。同部の佐藤智信監督は「昨年の1年間で非常に成長した。U18には選考されなかったが、今回代表に選ばれたということはその裏返し。スピードがあり、外からのシュートが良い」と評価する。  
大会は、7月22日から30日の9日間、イタリアで開催した。

- #### ◆公式戦試合結果
- ◆女子バスケットボール部
    - 第51回関東大学女子バスケットボール選手権大会 ベスト16
    - 第7回関東大学女子バスケットボール新人戦 準優勝
    - 敢闘賞 佐坂 樹(教育学部2年)
    - ベスト8賞 軸丸ひかる(教育学部2年)
  - ◆男子バスケットボール部
    - 第66回関東大学バスケットボール選手権大会 準優勝
    - 敢闘賞 野崎零也(教育学部4年)
    - 優秀選手賞 ディオップ・マムシェハイブラヒマ(経営学部2年)
    - 第57回関東大学バスケットボール新人戦 ベスト16
  - ◆硬式野球部
    - 関甲新学生野球連盟平成29年度春季1部リーグ戦 2位
  - ◆軟式野球部
    - 北関東大学軟式野球連盟 春季リーグ戦 準優勝
    - 北関東大学軟式野球連盟 新人戦 優勝
  - ◆女子バレーボール部
    - 2017年春季関東大学女子2部バレーボールリーグ戦 8位
  - ◆サッカー部
    - 社会人リーグ3部 前期1位

### 学生法律討論会を開催 —今回で12回目

法学部と法政策研究所主催の学生法律討論会が6月28日、東キャンパスの700教室で行われた。事前に発表された民法の



満席となった討論会場

事例問題について、各参加団体の代表者が壇上で論旨を発表。その内容についてほかの参加団体や一般参加者との間で質疑応答を行う。

この討論会は2007年から実施されており、今回で12回目。白石ゼミ、蓮田ゼミ、畑中ゼミ、茂木ゼミ、ゼミ連合の5団体が出場した。河原文敬法学部長は「総合的に良い影響が出ている」とし、「一般参加している1、2年生は今後どのような勉強をしなければいけないか目標になっている」と評価する。

### 教育学部の岡田ゼミが学校感染症 をテーマにしたカレンダーを作製

子どもたちへの感染症予防教育に少しでも役立ててもらおうと教育学部の岡田ゼミナールが「うつる病気のひみつがわかるカレンダー」を700部作製し、地域の保育園や幼稚園、小中学校に無料配布した。

子どもたちへの感染症予防教育に少しでも役立ててもらおうと教育学部の岡田ゼミナールが「うつる病気のひみつがわかるカレンダー」を700部作製し、地域の保育園や幼稚園、小中学校に無料配布した。



作製されたカレンダー

岡田ゼミナールでは、さ

らにその研究を深めている。本学では将来、小中学校や幼稚園の教員、保育士をめざす学生が、感染症に対する正しい知識と、対策や予防法を学び、教育や保育現場で力を発揮できるよう期待している。

### 小笠原ゼミが成果発表会を開催

都市戦略を研究する経営学部の小笠原ゼミナールが、昨年に続いて2回目の成果発表会を7月21日に開催した。

今回は経営学部が来夏J R小山駅前に竣工する新校舎へ移転することを踏まえ、「北関東の結節点を考える」と題してテーマを設定。「定住自立圏構想」・「起業支援」・「都市機能」・「交流空間と観光」の4グループに分かれ、自治体や団体などからヒアリング調査し、北関東の未来と可能性について研究成果と企画を発表。自治体や商工会議所の関係者も参加



「定住自立圏構想」について発表する学生

し、貴重な意見交換の場となった。小笠原伸教授は「地元自治体だけでなく、地域社会をもっと広くの視点でみつめていく必要があるのではないかと。本学の立地を北関東の結節点と位置づけ、ネットワーキ性と地域の集積に新しい価値を見出したい」としている。

### 経営学部・末村さんが トビタテ！留学JAPAN 派遣留学生生に

文部科学省主催のトビタテ！留学JAPAN「地域人材コース」の制度を利用した、大学コンソーシアムとちぎが実施する「とちぎグローバル人材育成プログラム上級コース」の派遣留学生に、経営学部3年の末村友季奈さんが選ばれた。本学から選出されるのは初めてで、8月中旬より1年間、米国インディアナ州のトリアン大学に交換留学として留学する。末村さんは「グローバル社会に貢献できる人材になりたい」と抱負を述べた。



ファイナードワークによる企業研究を計画する末村さん

### 大学生機能別消防団に学生6人が入団 —栃木県内で初の試み

小山市との連携事業のひとつで、今年度から新設された大学生機能別消防団に学生6人が入団した。



入団した6人の学生たち

機能別消防団は、一般団員を補完する役割で、能力や事情に応じて特定の活動のみ参加する消防団員で、学生たちは主に避難所の支援や広報活動を担当する。栃木県では小山市が初めて導入した。入団した高橋悠汰さん(教育学部4年)は「地域の安全に貢献するために頑張っていきたい」と、唯一女性として参加する山崎花弥さん(教

### 大学ローバー スカウト隊誕生

在學生で構成するローバースカウト隊が7月15日に東キャンパスで発団式を行った。

ローバースカウトとは、18歳から25歳までのボーイスカウトのことで、主に各大学で組織され活動しており、栃木県内の大学では本学が初の発足となる。同隊は、今後「日本ボーイスカウト小山第6団」として、社会に奉仕できる精神と体力を養うため、野外活動や地域のボランティアなどに積極的に参加する。32名の在學生が入団し、ボーイスカウト日本連盟理事長でもある奥島孝康学長が団委員長を務める。副代表の池田明日美さん(教育学部3年)は「今後は野外活動に加え、地域の方々と共に奉仕活動にも積極的に参加したい」と決意を述べた。



発団式を終え、明るい表情のメンバー



# 学校法人白鷗大学 平成28年度決算報告

## 【事業活動収支計算書】平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

事業活動収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。平成28年度の基本金組入前当年度収支差額は4億1,079万円の収入超過となりました。

(単位:円)

部	科目	予算額	決算額	差異	
		教育活動収入の部	5,941,403,000	5,947,273,110	△ 5,870,110
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	168,450,000	191,156,600	△ 22,706,600	
	手数料	23,170,000	20,769,939	2,400,061	
	寄付金	1,059,819,000	1,134,916,408	△ 75,097,408	
	経常費等補助金	366,700,000	439,592,192	△ 72,892,192	
	国庫補助金	693,119,000	695,324,216	△ 2,205,216	
	地方公共団体補助金	21,301,400	24,750,082	△ 3,448,682	
	付随事業収入	214,689,000	227,995,098	△ 13,306,098	
	雑収入	7,428,832,400	7,546,861,237	△ 118,028,837	
	教育活動収入計	7,428,832,400	7,546,861,237	△ 118,028,837	
	支出の部	3,755,088,446	3,737,076,556	18,011,890	
教育活動支出の部	人件費	3,172,177,075	2,909,782,965	262,394,110	
	教育研究経費	772,902,079	734,805,359	38,096,720	
	管理経費	500,000	332,530	167,470	
	徴収不能額等	7,700,667,600	7,381,997,410	318,670,190	
	教育活動支出計	7,700,667,600	7,381,997,410	318,670,190	
	教育活動収支差額	△ 271,835,200	164,863,827	△ 436,699,027	
	収入の部	169,501,000	158,411,733	11,089,267	
	教育活動外収入の部	受取利息・配当金	0	0	0
		その他の教育活動外収入	169,501,000	158,411,733	11,089,267
		教育活動外収入計	169,501,000	158,411,733	11,089,267
支出の部	20,425,000	18,077,808	2,347,192		
教育活動外支出の部	借入金利息	0	0	0	
	その他の教育活動外支出	20,425,000	18,077,808	2,347,192	
	教育活動外支出計	20,425,000	18,077,808	2,347,192	
教育活動外収支差額	149,076,000	140,333,925	8,742,075		
経常収支差額	△ 122,759,200	305,197,752	△ 427,956,952		
収入の部	19,911,219	19,224	19,891,995		
特別収入の部	資産売却差額	168,980,000	148,867,224	20,112,776	
	その他の特別収入	188,891,219	148,886,448	40,004,771	
	特別収入計	188,891,219	148,886,448	40,004,771	
支出の部	43,313,391	43,291,064	22,327		
特別支出の部	資産処分差額	0	0	0	
	その他の特別支出	43,313,391	43,291,064	22,327	
	特別支出計	43,313,391	43,291,064	22,327	
特別収支差額	145,577,828	105,595,384	39,982,444		
〔予備費〕	( 44,042,556)	5,957,444	5,957,444		
基本金組入前当年度収支差額	16,861,184	410,793,136	△ 393,931,952		
基本金組入額合計	△ 1,029,200,000	△ 1,067,926,641	38,726,641		
当年度収支差額	△ 1,012,338,816	△ 657,133,505	△ 355,205,311		
前年度繰越収支差額	△ 5,456,143,756	△ 5,456,143,756	0		
基本金取崩額	0	57,030,685	△ 57,030,685		
翌年度繰越収支差額	△ 6,468,482,572	△ 6,056,246,576	△ 412,235,996		
(参考)					
事業活動収入計	7,787,224,619	7,854,159,418	△ 66,934,799		
事業活動支出計	7,770,363,435	7,443,366,282	326,997,153		

主として大学への補助金です。

主として高校、中学、幼稚園への補助金です。

大学体育館建設に対する補助金1億3,468万円、施設整備への寄付金894万円、現物寄付金525万円です。

平成28年度決算について掲載します。この決算書は法人全体のものです。

### 事業概要

平成27年度に迎えた法人創立100周年記念事業の一環である校舎再整備については、大学では東キャンパス新校舎が平成28年9月に、体育館が同年11月に着工となりました。平成30年9月に経営学部と事務局本部が本キャンパスから移転の予定です。一方、先にスタートした高校では、校舎、体育館に続き、温水プール、人工芝テニスコートが完成し、本校舎の施設が一新されました。

平成28年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受け、「大学基準に適合している」との認定を受けました。認定期間は平成29年4月1日より平成36年3月31日迄

法科大学院は平成27年度から学生募集を停止していましたが、平成28年度末をもって在学生が全て修了したことから、廃止することとなりました。平成16年開設以来、198名が入学し、うち139名が修了、司法試験合格者は累計34名でした。その多くが近隣地域で弁護士として活躍しており、関東唯一の法科大学院としての役割は十分に果たしたと思われまます。

学生キャリア支援強化のため、大学組織の進路指導、公務員及び教員採用支援、インターシップに関する事業を執行していた進路支援センター、進路指導部、学習支援室、リエゾン委員会の4部門を再編し、キャリアセンターと改称しました。また、地域・社会貢献活動強化のため地域連携センターを開設し、公開講座や市民開放講座、

高大連携事業等の充実を図っていきます。

### 決算概要

事業活動収支としては、収入面では学生生徒納付金が前年度比203百万円増加し59億47百万円となりました。経常費等補助金も前年比71百万円増加し11億34百万円となりました。一方、費用面では、前年度、大学及び幼稚園が水害に見舞われ大幅に増加しましたが、今年度は教育研究経費が4億54百万円減少し29億9百万円、管理経費が1億75百万円減少し7億34百万円となり、本業である教育活動の収支状況を表す教育活動収支差額は8億44百万円増加し、1億64百万円とマイナスからプラスに改善しました。

また、前年度の水害に対する損害保険金11億45百万円がなくなり、特別収支のその他特別収

入が15億68百万円減少したこと等から、基本金組入前当年度収支差額は、3億55百万円減少し、4億10百万円となりました。

資金収支としては、大学の東キャンパス建築支払資金を中心に施設関係支出が26億81百万円増加し35億1百万円となったため、特定資産を取り崩すと共に15億円の借入を行いました。その結果、翌年度繰越支払資金は、5億56百万円増加し、32億90百万円となりました。

貸借対照表としては、東キャンパス建設により建設仮勘定が増加したこと、有形固定資産が26億97百万円増加しました。一方、東キャンパス建設資金支払のため、第2号基本金特定資産等を取り崩したことにより、特定資産は17億56百万円減少しました。固定負債は、借入金等により13億32百万円増加

## 【貸借対照表】平成29年3月31日

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・消費収支差額の状況を表して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「正味財産」は前年度より4億1,079万円増加し、340億557万円となりました。

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
固定資産	33,399,940,084	32,303,315,748	1,096,624,336
有形固定資産	26,355,335,126	23,658,252,995	2,697,082,131
土地	5,904,030,229	5,907,799,779	△3,769,550
建物	13,467,491,326	14,048,097,572	△580,606,246
構築物	1,218,378,041	1,160,206,259	58,171,782
教育研究用機器備品	996,703,529	1,089,572,849	△92,869,320
管理用機器備品	207,517,551	209,278,183	△1,760,632
図書	1,127,817,675	1,094,872,417	32,945,258
車両	100,020,175	97,622,736	2,397,439
建設仮勘定	3,333,376,600	50,803,200	3,282,573,400
特定資産	6,311,979,603	8,068,574,903	△1,756,595,300
第2号基本金引当特定資産	2,200,000,000	3,340,000,000	△1,140,000,000
退職給与引当特定資産	730,645,603	700,645,603	30,000,000
減価償却引当特定資産	3,381,334,000	4,027,929,300	△646,595,300
その他の固定資産	732,625,355	576,487,850	156,137,505
借地権	291,394,657	291,394,657	0
投資有価証券	53,343,674	53,343,674	0
その他の	387,887,024	231,749,519	156,137,505
流動資産	5,820,470,196	5,086,189,756	734,280,440
現金預金	3,290,860,672	2,734,708,724	556,151,948
有価証券	2,271,227,022	1,881,564,225	389,662,797
その他の	258,382,502	469,916,807	△211,534,305
資産の部合計	39,220,410,280	37,389,505,504	1,830,904,776
<b>負債の部</b>			
固定負債	3,350,528,817	2,017,621,600	1,332,907,217
長期借入金	2,600,000,000	1,300,000,000	1,300,000,000
退職給与引当金	750,528,817	717,621,600	32,907,217
流動負債	1,864,315,763	1,777,111,340	87,204,423
短期借入金	200,000,000	200,000,000	0
受取	1,294,554,269	1,188,518,393	106,035,876
その他	369,761,494	388,592,947	△18,831,453
負債の部合計	5,214,844,580	3,794,732,940	1,420,111,640
<b>純資産の部</b>			
基本金	40,061,812,276	39,050,916,320	1,010,895,956
第1号基本金	37,371,812,276	35,220,916,320	2,150,895,956
第2号基本金	2,200,000,000	3,340,000,000	△1,140,000,000
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
繰越収支差額	△6,056,246,576	△5,456,143,756	△600,102,820
翌年度繰越収支差額	△6,056,246,576	△5,456,143,756	△600,102,820
純資産の部合計	34,005,565,700	33,594,772,564	410,793,136
負債及び純資産の部合計	39,220,410,280	37,389,505,504	1,830,904,776

土地と図書以外の有形固定資産については、減価償却累計額を控除して表示しています。

減価償却による減少です。

大学校舎建築による増加です。

将来の校舎改装等に備えるためのもので今年度大学で10億円、高校で1億4000万円を取崩しました。

大学の校舎建設に伴い15億円の借入れを行いました。平成29年度返済予定額2億円を短期借入金へ振り替えています。

固定資産の維持取得に係る基本金です。

将来取得する固定資産の取得に充てる資金の額で今年度11億4000万円を第1号基本金へ振り替えています。

必要な運転資金維持に係る基本金です。

## 【資金収支計算書】平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

資金収支計算書は、一年間の収入・支出ごとの資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。資金収支の総額は150億9,954万円であり、平成29年度への繰越支払資金は32億9,086万円となっております。

### 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	5,941,403,000	5,947,273,110	△ 5,870,110
手数料収入	168,450,000	191,156,600	△ 22,706,600
寄付金収入	55,300,000	29,710,842	25,589,158
補助金収入	1,194,499,000	1,269,596,408	△ 75,097,408
国庫補助金収入	501,380,000	574,272,192	△ 72,892,192
地方公共団体補助金収入	693,119,000	695,324,216	△ 2,205,216
資産売却収入	302,270,334	171,789,334	130,481,000
付随事業・収益事業収入	21,301,400	24,821,181	△ 3,519,781
受取利息・配当金収入	168,001,000	155,953,473	12,047,527
雑収入	214,689,000	227,995,098	△ 13,306,098
借入金等収入	1,500,000,000	1,500,000,000	0
前受金収入	1,167,810,000	1,294,554,269	△ 126,744,269
その他の収入	3,464,410,718	3,027,532,486	436,878,232
資金収入調整勘定(注)	△ 1,453,452,393	△ 1,475,553,512	22,101,119
前年度繰越支払資金	2,734,708,724	2,734,708,724	0
収入の部合計	15,479,390,783	15,099,538,013	379,852,770

有価証券の売却収入です。

大学校舎建築資金としての借入です。

主として平成29年度入学者の入学金、授業料等の学生納付金です。

主として特定資産の償還収入です。

### 支出の部

科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	3,722,788,446	3,704,169,339	18,619,107
教育研究経費支出	2,302,927,075	2,061,072,443	241,854,632
管理経費支出	635,537,322	619,490,329	16,046,993
借入金等利息支出	20,425,000	18,077,808	2,347,192
借入金等返済支出	200,000,000	200,000,000	0
施設関係支出	3,504,807,400	3,501,611,316	3,196,084
設備関係支出	191,832,770	184,575,181	7,257,589
資産運用支出	1,031,825,000	1,339,530,656	△ 307,705,656
その他の支出	453,592,947	465,846,599	△ 12,253,652
( 49,725,013)			
予備費	274,987	-	274,987
資金支出調整勘定(注)	△ 289,010,701	△ 285,696,330	△ 3,314,371
次年度繰越支払資金	3,704,390,537	3,290,860,672	413,529,865
支出の部合計	15,479,390,783	15,099,538,013	379,852,770

主として大学校舎建築資金の支払です。

特定資産の償還に対する代替購入によるものです。

(注) 資金収入調整勘定及び資金支出調整勘定について

学校法人会計における資金収支計算の目的は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容当該会計年度における支払資金の収入及び支出とそとの年末を明らかにすることとされています。そのため収入・支出ともに調整勘定が設けられています。なお、資金収入調整勘定には期末未収入金及び前期未前受金、資金支出調整勘定には期末未払金及び前期未前払金を計上しています。



報告

# 東キャンパス新棟建設状況

## いよいよ来年9月、 全面利用開始

昨年9月の地鎮祭から約10ヶ月、新棟建設工事は一つの節目を迎えた。

法人創立100周年記念事業の一環として建設が進む東キャンパスの新棟と体育館で、基本構造の完成を祝う上棟式が7月12日に執り行われ、関係者全員で工事の無事を祈願。上棟行事では関係者が見守るなか、新棟最上部の鉄骨が取り付けられた。

新棟と体育館は2018年に竣工する。既存棟から図書館を新棟に移設し、同年4月より図書館の利用を開始。その後、既存棟の一部を改装。本キャンパスからの移行期間を設けて、経営学部と本部機能を移転する。来年9月からの後期授業に合わせ、すべての利用を開始する。経営学部と法学部の全学年が学ぶほか、知と情報の拠点として、地域に開かれた大学に生まれ変わる。



8階建ての基本構造が完成した新棟(2017年7月21日撮影)

### 今後のスケジュール

#### 2018年

- 2月 新棟・体育館が竣工
- 3月 既存棟の図書館を新棟へ
- 4月 新棟図書館の利用開始
- 4~7月 既存棟内を一部改装
- 8月 経営学部・本部機能が新キャンパスに
- 9月 後期授業スタートに合わせて全面利用開始



体育館の完成イメージ



新棟の完成イメージ

### 本キャンパスに体操場が完成

本キャンパス正門西側、硬式野球部の室内練習場隣地に体操場が完成した。法人100周年記念事業の一環で、大学が進めている本キャンパス整備事業計画の一部。耐震基準に伴う第二体育館解体のため、同体育館の1階にあった体操場は、活動拠点を移し新しく生まれ変わった。鉄骨造り地上1階建て、延べ床面積約663㎡。スプリング式フロアや鉄棒・跳馬・平均台・あん馬など、器械体操の器具が揃った同場は、教育学部の運動施設として授業や研究、部活動などで使用するほか、地域との連携の場としても活用される。完成を記念して、地域の小学生対象に体操教室が開催された。



8月に完成した体操場



3フロアからなる図書館



各種スポーツなどで使用予定のアリーナ

### 教員著書紹介



「事例で学ぶ 独占禁止法」  
鈴木孝之(法学部教授)共著  
2017年5月刊  
550頁/有斐閣  
4,968円

具体的な事例を素材として用いながら、解説を詳しく述べることで、独占禁止法の意義・内容についての理解を深め、具体的な問題解決能力を養おうとする意欲的なテキスト。

- 「民主主義を相対化する中国」 范力(経営学部教授)編著 2016年12月刊/265頁/時潮社/3,240円
- 「アメリカ連邦所得課税法の展開—申告納税法制の現状と課題分析」 石村耕治(法学部教授)著 2017年3月刊/943頁/財経詳報社/3,780円
- 「田中正造と足尾銅毒問題 土から生まれたリベラル・テモクラシー」 三浦頭一郎(法学部教授)著 2017年3月刊/312頁/有志舎/2,808円
- 「怖くて眠れなくなる感染症」 岡田晴恵(教育学部教授)著 2017年3月刊/216頁/PHP研究所/1,512円
- 「正しく怖がる感染症」 岡田晴恵(教育学部教授)著 2017年3月刊/206頁/筑摩書房/885円
- 「からだの免疫キャラクター図鑑 病気をふせぐしくみがよくわかる!」 岡田晴恵(教育学部教授)監修 2017年3月刊/79頁/日本図書センター/1,620円

### 教員人事

【新任】(平成29年4月1日付)  
教育学部

教授 福崎 淳子  
准教授 浅田 晃佑

伊勢 正明  
奥山 慶洋

齋藤 千明  
玉宮 義之

榎本 哲士  
斎藤 明宏

Richard Todd Leroux  
助教 網野 友雄

【退職】(平成29年3月31日付)  
教育学部

特任教授 北山 修

### お悔やみ

名誉教授・元法学部長  
波多野裕造 86歳  
(平成29年2月逝去)

法学部教授  
早野 俊明 58歳  
(平成28年9月逝去)

教授 粕谷 圭司  
加藤 澤男

小久保 裕  
竹長 吉正

仁平 義明  
平野 晋吾

グレン 浜田  
経営学部 准教授

ドリス 渡辺  
法学部 講師

高橋 義人  
法学部 教授

新井 弘明  
法務研究科 講師